

## エンジン式フォークリフト

3年間保存

## 定期自主検査記録表(月次)

様式SR-LE-11-D

メーカー名			管理No.			使用者住所 氏名又は名称													
型式			稼働時間 h																
製造番号			走行距離 km			検査業者又は事業者 住所氏名又は名称													
検査年月日			検査者 氏名																
区分	No.	検査箇所	検査内容		検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容	区分	No.	検査箇所	検査内容		検査方法	検査結果 良 不良	補修 内容				
エンジン	1	本体	かかり具合、異音、回転の状態、排気の状態		目視 操作 聴診			荷役装置	21	フォーク	亀裂、摩耗、止めピン部の摩耗		目視 触診						
	2	エアクリーナー	エレメントの汚れ		目視				22	マスト、リフトブレケット	亀裂、がた		目視 操作 診断						
	3	潤滑装置	油量・汚れ、油漏れ		目視				23	リフトチェーン	張り具合		目視 触診						
	4	燃料装置	燃料漏れ、高圧ガス漏れ		目視				24	アタッチメント装置	取付け状態、作動、異音		目視 操作 診断						
	5	冷却装置	水量、水漏れ、ホースの損傷、ファンベルトの緩み		目視 触診				25										
	6	バッテリー	液量、端子の緩み		目視 レンチ等				26	作動油タンク	油量・汚れ、油漏れ		目視						
	7								27	配管 (ホース、パイプ)	損傷、油漏れ、取付け状態		目視 触診						
動力伝達装置	8	クラッチ	異音、切れ、ペダルの遊び・隙間		聴診 操作 目視			28	油圧ポンプ (含駆動装置)	油漏れ、異音		目視 操作 診断							
	9	トランスミッション、トルクコンバーター、デファレンシャル	レバーの抜け、作動、異音、油量(トルコン)、油漏れ		目視 操作 聴診			29	油圧シリンダー (リフト、ティルト、アタッチメント)	作動、油漏れ、ピンの摩耗、ボルトの緩み		目視 操作 触診							
	10							30	方向制御弁 (コントロール弁)	レバーのがた、油漏れ		目視 操作							
走行装置	11	ホイール (タイヤ)	空気圧、亀裂、摩耗、ボルト・ナットの緩み ペアリングのがた・異音		目視 タイヤゲージ レンチ等 触診 聴診			31											
	12							32	ヘッドガード、バックレスト	亀裂、変形、取付		目視 レンチ等							
操縦装置	13	ハンドル	操作具合、がた		目視 操作 触診			33	灯火類、 方向指示器、 計器類	作動、破損、水浸入		目視 操作							
	14	ナックル	キングピンのがた		触診			34	警音器、 後写鏡、 反射鏡	音量、損傷、写影		目視 触診							
	15	パワーステアリング	油漏れ、ホース・パイプの損傷		目視 触診			35	給油脂	各部の給油脂状態		目視 操作							
制動装置	16							36	離席時安全装置 (走行・荷役)	作動		目視 操作							
	17	走行ブレーキ	ペダルの遊び・床板との隙間、効き具合、		目視 操作			37											
	18	駐車ブレーキ	引きしろ、引き力、踏み力、効き具合		目視 操作			38	総合テスト (走行、荷役)	機能、異音、異常振動、異常発熱		操作 視診 触診							
	19	オイルブレーキ (含配管)	作動、油量、油漏れ		操作 目視														
	20																		
事業者等 要請																			
補修等の措置内容																			
照合No.	補修箇所及び不具合状況			補修年月日		補修実施内容													
備考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記入する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記入する。 4. No.の網掛けは建荷協推奨項目、その他は定期自主検査指針(平成8年9月25日公示第17号)に基づく検査項目を示す。										記号	交換	分解交換	修理	調整	締付	清掃	給油水	該当なし